

小丸川水系流域治水協議会

計画：「水災害の自分事化」と流域に視野を広げることに関する令和5年度の取組計画を①②③の別に記入(横断可)

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- メディアと防災気象情報について勉強会を実施(2回14機関)
- 各機関との防災訓練(5回)
- 流域イベントで、流域治水をPR(4回)
- 防災イベントによる啓発活動(気象庁、宮崎県)

教育活動

- 防災教育・流域治水の啓発に関する出前講座を実施(国)

訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(高鍋町、木城町、川南町)

水防活動の支援

- 自主防災組織の育成(高鍋町、木城町、川南町)

水災害対策の支援

- 避難施設等の非常用電源設備の設置(木城町)

リスク情報等の提供

- 水防情報図の市町村への配布(2町:国)
- ワンコイン浸水センサの設置(高鍋町、木城町)
- 防災ハザードマップ改訂・配布(川南町)

流域治水の広報

- ラジオ(1回2局)、新聞(1紙)、CATV(1回)でハザードマップや防災訓練、マイタイムライン等に関する啓発活動を実施

計画策定

- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進(気象庁、宮崎県、高鍋町、木城町)
- 災害危険区域の指定(高鍋町)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

周知、連携活動
中心

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

情報提供、教育
活動中心

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組めるよう、個人、企業・団体の行動を誘発して

計画策定や具体
行動の支援中心

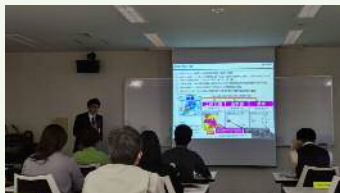
小丸川水系流域治水協議会

結果報告: 具体的取り組み事例について取り上げつつも、参加団体数や参加者数等の定量的数字を把握し記入。

流域にも視野を広げる
(自分のためにも、みんなのためにも)

連携活動

- メディアとの防災気象情報について勉強会を実施(2回14機関:国、気象台等)



- 各機関との防災訓練(5回実施:国、県、市)



流域治水の広報

- ラジオ(1回2局)や新聞(1紙)でハザードマップや防災訓練、マイタイムライン等に関する啓発活動を実施(国)



教育活動

- 防災教育・流域治水の啓発活動に関する出前講座を実施(5回実施:国)



訓練活動

- 住民参加型の避難訓練を実施(高鍋町、木城町、川南町)

水防活動の支援

- 自主防災組織の育成(高鍋町、木城町、川南町)

水災害対策の支援

- 避難施設等の非常用電源設備の設置(木城町)



リスク情報等の提供

- 水防情報図の市町村への配布(2市2町:国)
- 防災ハザードマップ改訂・配布(川南町)

- ワンコイン浸水センサの設置(高鍋町、木城町)



計画策定

- 要配慮者施設等の避難確保計画の作成促進(気象庁、宮崎県、高鍋町、木城町)
- 災害危険区域の指定(高鍋町)

①知る機会を増やす

水災害のリスクや、流域治水について知る機会を増やしていく。

②自分事と捉えることを促す

水災害のリスクが自分事と捉えられ、流域に視野が広がるきっかけを提供し、行動に向かう状況を創出する。

③行動を誘発する

水災害対策や、流域治水に関して実際に取り組みが行われるよう、個人、企業・団体の行動を誘発していく。

流域治水に取り組む主体が増える